



コミュニティわかつき

# 5月の活動報告

## 春季スポーツ大会

「春季スポーツ大会」が、5月19日(日)に行われました。参加チームはソフトボール8チーム、ソフトバレー(A)3チーム、ソフトバレー(B)13チームです。

ソフトボールは優勝が若槻団地、準優勝が稲田、3位が上野と若槻東条、敢闘賞は檀田となりました。

ソフトバレー(A)は優勝が若槻東条、準優勝が稲田、3位は上野です。なお、この3チームが秋の長野市大会に出場することになります。

ソフトバレー(B)は優勝が徳間B、準優勝が上野A、3位は上野Bと徳間A、敢闘賞は若槻東条と若槻団地Aとなりました。

傳田若槻公民館長からは、「今年は特に子どもたちの応援がすばらしく、世代を超えて共に楽しむコミュニティの行事の楽しさを実感した。次には応援賞も検討したらどうか」との講評をいただきました。今回は諸般の事情から若干の参加チームの減少が見られましたが、例年に変わらぬ熱戦と、盛大な応援が繰り広げられた楽しい1日でした。(公民館部会)



## サツマイモ植え付け体験



コミわかグリーン倶楽部は、5月24日コミわか農園(徳間)に長野市立皐月保育園園児を招いて、サツマイモの苗の植え付け体験会を行いました。

倶楽部会員12人に加えて、今年から新たに加わったJA長野の職員5人が事前に畝を作っておいたところに、園児約30人と先生が苗の植え付けを行った。

最初に会員に植え方を教わり、慎重に土をかけた後、水をかけたりしていた園児たちも、慣れてくると300本の苗を奪い合うほどの勢い。30分程度で植え終わりました。

「焼き芋大好き、食べたい」「早く大きくなってほしい」と話していました。

会員も孫のような子供たちと和やかに交流し、終始笑顔のひと時でした。

## 健康ウォーキング

第1回健康ウォーキングを5月24日(金)に開催しました。

寒くも、暑くもなく、歩くのには最高の天気でした。83才の方、79才の方等を交え多数の参加があり、ありがとうございました。

坂道を上ったり、下ったりの起伏のあるコースを昭和の森公園まで行き、コミわか自然環境部長さんによる、昭和の森の由来等の説明を受け、意義のあるウォーキングになりました。

事前に吉田保健センターの保健師さんによる、血圧、体脂肪、筋肉量、基礎代謝量、体内年齢等の測定があり、自分の体を知る事ができ、大変好評でした。

次回

10月8日(火) ノルディックウォーキング

11月1日(金) 健康ウォーキング(血圧測定あり)

を開催しますので、大勢の皆様の参加をお待ちしております。(健康部会)



## 人権研修会

私たちの周りには様々な差別や格差があります。同和問題、高齢者や障害者などへの偏見。いずれも人権にかかわる由々しき問題です。

人権教育部会は5月25日、コミュニティセンターで住民自治協議会の役員を対象にした研修会を開き50人が参加しました。講師は長野市人権同和政策課の大内徹指導主事。大内さんは高齢者問題に焦点を当て、DVD「老いを生きる」を見ながらいくつかの問題や課題を提示し、解決への手掛かりを話されました。

例えば、健康で生きがいのある暮らしの調査では、近所や友人との交流を望むのが60%と最も多いこと。この他高齢者介護施設の中での虐待の状況、認知症予防などの説明です。

長野県の高齢者(65歳以上)が人口に占める割合は27.4%で長野市は25%(いずれも平成24年10月1日現在)。若槻地区も25%というデータも示された。(人権教育部会)

## 子ども相撲大会



熱戦を繰り広げる豆っ子力士

5月26日(日)、若槻子ども相撲大会が若槻東条の蚊里田八幡宮境内で開催されました。

若槻地区の小学生同士の交流を目的に始められた若槻子ども相撲大会は今年で4年目となり、開催する毎に参加人数が増え、小学1年生から6年生まで昨年の75名を上回る99名が出場し計110番の取り組みが行われました。当日は天候にも恵まれ、父母をはじめ大勢の観客が子どもたちの熱戦に声援をおくりました。接戦も多く何度も取り直しになるなど、手に汗握る大一番も繰り広げられました。どの子も歯を食いしばり力一杯取り組む姿が印象的でした。閉会式では、徳間小学校の西澤茂校長先生より「素晴らしい取り組みでした。裸足で登った土俵の感触や、わらに足をかけてギリギリまで粘り頑張った気持ちをいつまでも忘れないでください」とご講評をいただきました。(青少年部会)